

9. 二枚貝資源緊急増殖対策委託事業

木村竜太郎・岩永俊介・桐山隆哉

本事業は二枚貝類の人工種苗生産技術の開発と二枚貝資源の増大手法の確立を目的に、平成26年度から(研)水産研究・教育機構西海区・瀬戸内海区水産研究所と有明4県の連携により実施している。当水試では、「長崎県地先における親貝の分布と親貝の育成」を課題に、諫早湾内におけるタイラギの分布調査と人工稚貝の干潟域への移植試験を行った。分布調査では、諫早湾北岸の干潟域で平均殻長20 cmのタイラギが春に25個体、冬に88個体が、諫早湾南岸の浅場域では春

と冬に殻長10cm前後のものが1個体ずつ確認された。移植試験は、西水研と共同で28年10月に平均殻長2~3 cmの人工稚貝を移植し、3ヶ月後の翌年1月の生残率は、ケージ区および露天天然区が約40%、露天生分解性容器区および露天麻網区が約10~30%であった。なお、事業の詳細については「平成28年度二枚貝資源緊急増殖対策委託事業報告書」を参考にされたい。

(担当：木村)